

2012年7月31日 全4頁

6月雇用統計

失業率は2ヶ月連続で改善

経済調査部
齋藤 勉

[要約]

- 雇用環境は緩やかな改善が続く：2012年6月の完全失業率（季節調整値）は4.3%となり、前月から0.1%pt改善した。就業者数が増加し、失業者数は減少するなど、内容も良い結果である。また、有効求人倍率は0.82倍と、前月から0.01pt改善した。新規求人倍率は前月から0.03pt悪化したが、高水準での推移が続いており、総じて見れば雇用環境は緩やかに改善傾向にあると言えるだろう。
- 雇用環境は改善が続くと見込む：堅調な内需を背景に、日本経済は回復が続いている。復興需要や、高齢化による医療、介護人材の需要増を背景として、労働需要は継続的に増加している。夏以降政策効果の息切れ等により、一時的に踊り場入りする可能性があるが、日本経済は底堅く推移すると見られており、先行きも雇用環境は緩やかに改善が続くと考えている。

図表1：各種雇用環境指標の推移

			2012年 3月	4月	5月	6月	出所
完全失業率（季節調整値）	%		4.5	4.6	4.4	4.3	総務省
有効求人倍率（季節調整値）	倍		0.76	0.79	0.81	0.82	厚生労働省
新規求人倍率（季節調整値）	倍		1.19	1.28	1.35	1.32	
名目賃金指数	現金給与総額	前年比	0.9	0.2	-1.1	-0.6	
	所定内給与	前年比	0.4	-0.2	0.0	-0.2	
労働時間指数	総労働時間	前年比	1.5	0.4	3.2	-0.5	
	所定内労働時間	前年比	1.4	0.0	3.0	-0.6	
	所定外労働時間	前年比	4.3	5.3	5.6	1.2	

（出所）各種統計より大和総研作成

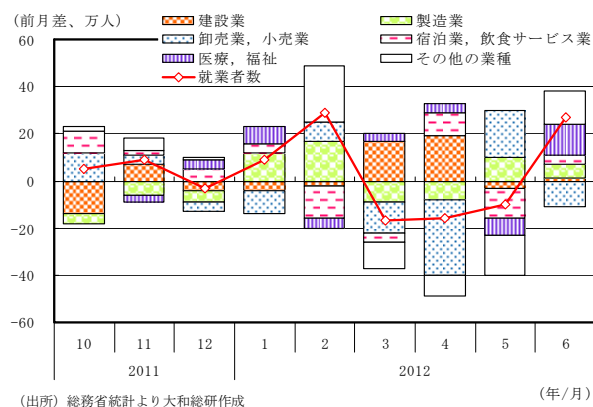
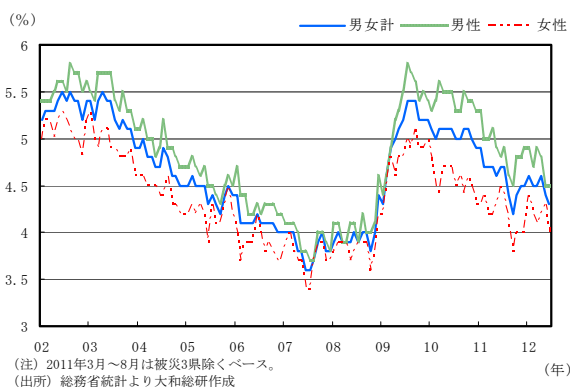
6月の完全失業率は0.1%pt改善

2012年6月の完全失業率（季節調整値）は4.3%となり、前月から0.1%pt改善した（図表2-1）。中身を見ると、就業者数が前月から27万人増加し、失業者は8万人減少した。非労働力人口は18万人減少している。男女ともに就業者数が増加しており、失業者数も減少していることから、数字以上に内容も良いと言える。

医療、福祉や製造業で就業者数が増加

業種別に就業者数の推移を見ると、医療、福祉や製造業で就業者数が増加している（図表2-2）。雇用環境の本格的な改善には、雇用の吸収力の大きい製造業で就業者数が増えることが重要であり、今後も改善が続けば失業率の改善も続くとみられる。一方で、建設業で就業者数の増加が鈍い点には注意が必要である。被災地では、求人倍率の上昇が続いており、特に復興工事関連で人手が足りないという話が聞かれる。建設業で就業者数の増加が鈍いということは、そういった労働需要に対して労働供給がうまくなされていないということであり、復興の遅れにつながっていると考えられる。

図表 2-1：男女別完全失業率（季節調整値） 図表 2-2：業種別就業者数

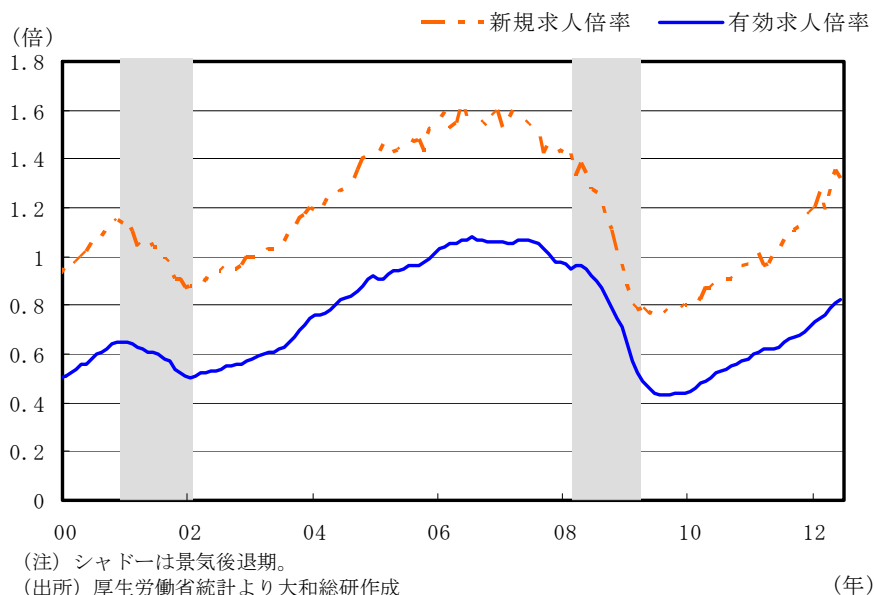


6月の有効求人倍率は0.01pt改善

6月の有効求人倍率は0.82倍と、前月から0.01pt改善した（図表3）。中身を見ると、有効求人数が増加し、有効求職者数は横ばいでの推移となった。有効求人倍率に先行する新規求人倍率は、1.32倍と前月から0.03pt悪化した。新規求人数が減少し、新規求職申込件数は横ばいでの推移となった。就職件数は、18.5万件となり、横ばいでの推移となった。

有効求人倍率は改善が続き、新規求人倍率は悪化したものの高水準で推移している。完全失業率は緩慢ながら改善傾向にあることなどから、雇用環境は緩やかに改善が続いていると判断できる。

図表 3 : 有効求人倍率と新規求人倍率



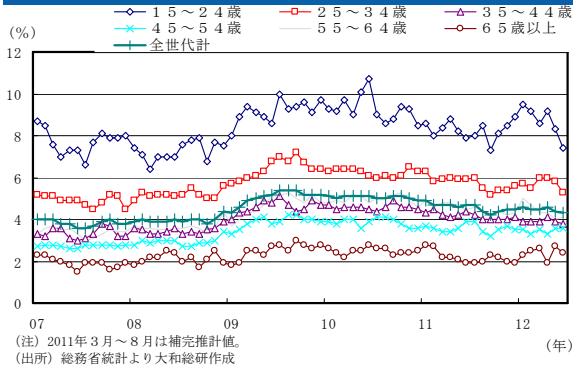
先行きも雇用環境は改善を見込む

堅調な内需を背景に、日本経済は回復が続いている。復興需要や高齢化による医療、介護人材の需要増を背景として、労働需要は継続的に増加している。夏以降政策効果の息切れ等により、一時的に踊り場入りする可能性があるが、日本経済は底堅く推移すると見られており、先行きも雇用環境は緩やかに改善が続くと考えている。

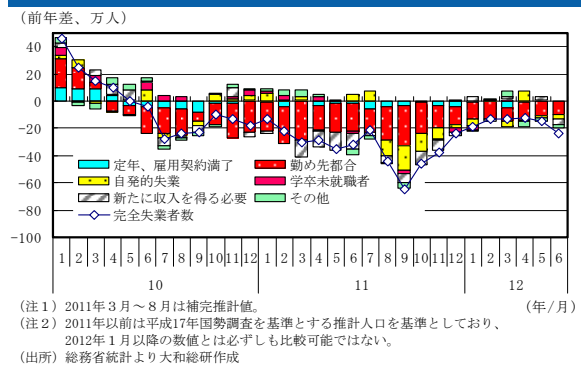
ただし、中国や米国といった海外経済がさらに減速すれば、輸出の減少を通じて国内製造業の生産も減少し、雇用の減少につながるだろう。また、円高の進行に伴って一部の製造業では工場を海外に移転する、発注を海外に移すなどの動きも出てきている。こういった動きは、少なくとも短期的には雇用を減少させる可能性があるため、製造業の海外進出の動向にも注視が必要だろう。

雇用・所得概況

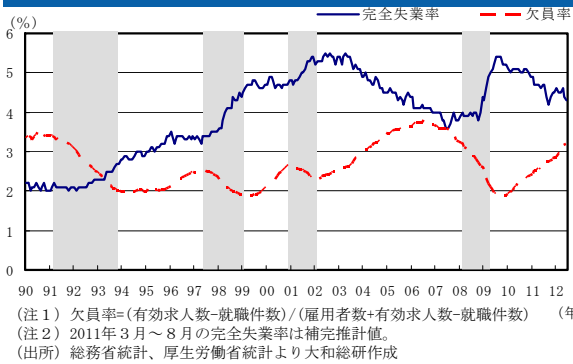
世代別完全失業率



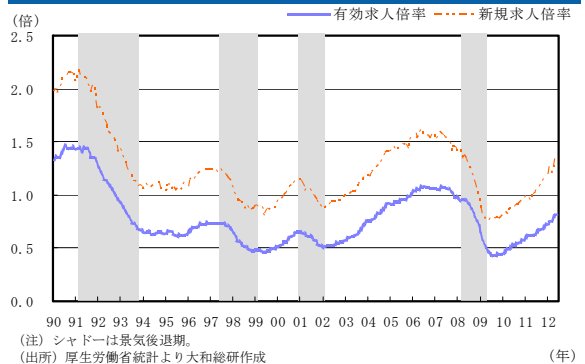
求職理由別完全失業者数



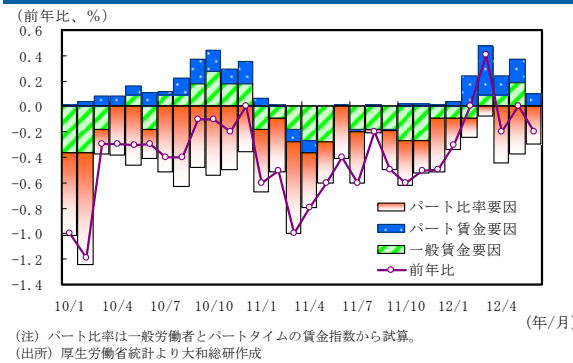
完全失業率と欠員率



有効求人倍率と新規求人倍率



所定内給与の要因分解 (5人以上、全規模)



所定内給与の推移 (5人以上、全規模)

